

# 熊本県の被災状況【土木部版】 令和7年8月豪雨



県道松島馬場線（上天草市）路面崩壊（提供：建設業協会 熊本支部）



上天草市合津終末処理場周辺の浸水状況（提供：上天草市）



木葉川（玉名市）護岸決壊



県道小川泉線（八代市）路面崩壊



美里町がけ崩れ



八代市堆積土砂（提供：八代市）



## 目次

- 1 豪雨の概要と県内の被害概要
- 2 公共土木施設の被害の概要
- 3 道路の被害と応急対策
- 4 土砂災害と応急対策
- 5 河川の被害と応急対策
- 6 下水道の被害と応急対策
- 7 公園の被害と応急対策
- 8 海岸、港湾の被害と応急対策
- 9 土木部における初期対応
  - (1) 孤立集落解消の取組み
  - (2) 通行止め箇所の応急対策の取組み
  - (3) 堆積土砂撤去の取組み
  - (4) 被災河川の応急対策の取組み
  - (5) 建設型応急住宅の整備
- 10 令和7年8月豪雨を踏まえた浸水被害（内水を含む）対策について

# 1 豪雨の概要と県内の被害概要

## (1) 豪雨の概要

### 【気象の状況】

○令和7年8月6日から11日にかけて前線が九州付近に停滞した影響で、県内は記録的な大雨となった。この間、110ミリ以上の大雨を観測した際に発表される「**記録的短時間大雨情報**」が15回、**大雨特別警報**が7市町に発表された。

### 【大雨の状況】

○10日から11日にかけて、熊本地方を中心に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、記録的短時間大雨情報が発表された。

#### 《1時間雨量(8月10日～11日)》

菊池市菊池で115.5ミリを観測するなど**多くの観測点で8月の1位の記録を更新した**。  
**岱明、菊池、松島、本渡、八代では年間の観測史上1位となった。**

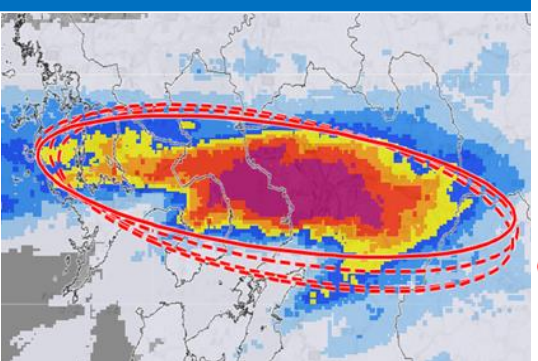
#### 《1日の降水量(8月11日)》

**八代市八代で377.5ミリを観測するなど6地点で8月の1位を記録した**。  
**山都、甲佐、八代では年間の観測史上1位となった。**

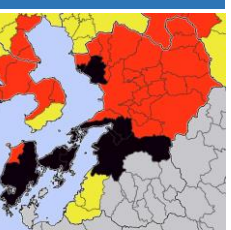
#### 《平年8月との比較》

6日間(8月6日～11日)の総降水量は、**2地点(熊本、甲佐)で平年の8月の3倍を超え、8地点(岱明、菊池、松島、八代、益城、三角、宇土、山都)で2倍を超えた。**

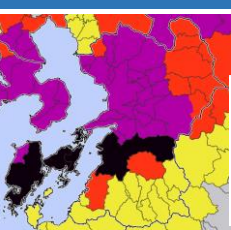
### 8/11 1時時点の3時間降水量



### 大雨(浸水害)

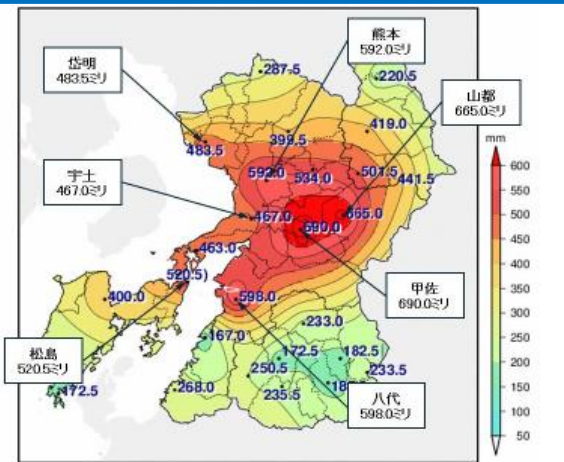


### 大雨(土砂災害)



- 特別警報
- 土砂災害警戒情報
- 警報
- 注意報
- 発表なし

### アメダス総降水量の分布図(8/6～8/11)



※松島は機器障害(8月11日08時10分～)による欠測を含む

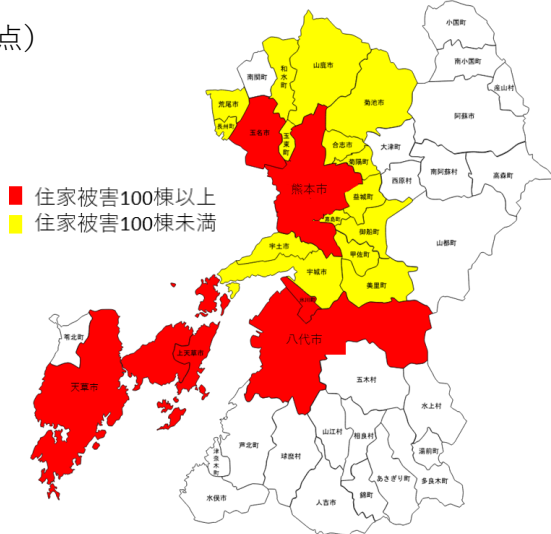
図-1 出典：気象庁ホームページ  
[https://www.jmanet.go.jp/fukuoka/gyomu/saigai\\_sokuho\\_siryu.html](https://www.jmanet.go.jp/fukuoka/gyomu/saigai_sokuho_siryu.html)

## (2) 人的被害・家屋被害の概要

- 豪雨直後には、県が管理する国道と県道合わせて64箇所が全面通行止めとなった。
- 土石流、がけ崩れなどの土砂災害は128箇所が発生した。
- 県管理河川は326箇所、市町村管理河川は625箇所被害が発生した。
- 沿岸部や市街地等の低平地では甚大な浸水被害が発生した。

### 【人的被害・住宅被害】(令和8年3月9日時点)

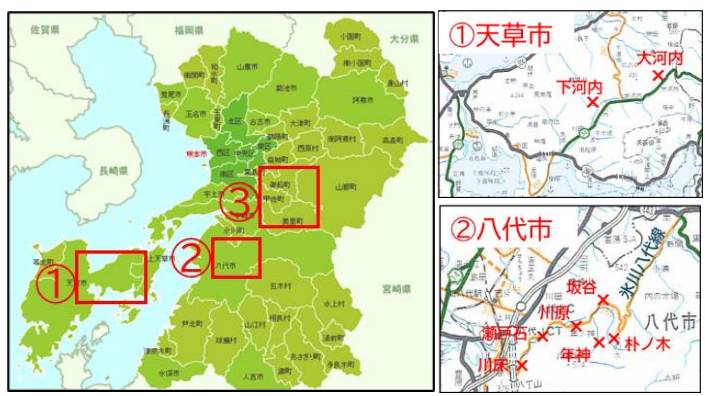
項目		状況
人的被害	死者数	4人
	行方不明者数	1人
	負傷者数	25人 (重傷3人、軽傷22人)
住家被害	全壊	28棟
	半壊	2,696棟
	一部破損	5,861棟
	浸水	72棟 (床上10棟、床下62棟)



## (3) 孤立集落の概要

○県央、県南地域を中心に県管理、市町管理道路の土砂崩れや倒木、路面崩壊等により最大で6市町30集落301世帯561人の孤立が発生した。

### 令和7年8月豪雨における孤立集落位置図

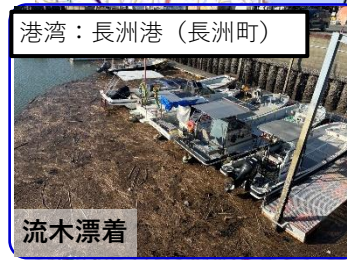


### ③美里町、御船町、甲佐町、山都町



# 2 公共土木施設の被害の概要

○県と市町村が管理する公共土木施設における被害は、河川災害箇所で951箇所、道路954箇所、砂防149箇所、水道4箇所、下水道5箇所等、合計で、計2,081箇所、420億円に達した。



出典：国土地理院発行2.5万分1地図を加工して作成

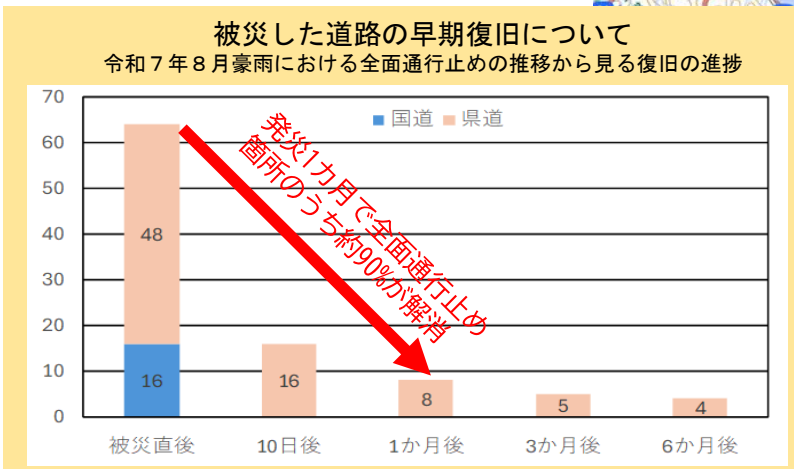


【県及び市町村管理の公共土木施設災害査定結果】

	県		市町村		県内合計	
	箇所数	金額(億円)	箇所数	金額(億円)	箇所数	金額(億円)
河川	326	109	625	96	951	205
道路	180	51	774	117	954	168
砂防施設	149	33	0	0	149	33
橋梁	0	0	12	7	12	7
水道	0	0	4	1	4	1
下水道	0	0	5	2	5	2
公園	0	0	6	4	6	4
合計	655	193	1,426	227	2,081	420

# 3 道路の被害と応急対策

- 県央、県南、天草地域を中心に道路決壊、道路法面の崩壊等が起こり多くの箇所が寸断された。
- 豪雨直後には、県が管理する国道と県道合わせて64箇所が全面通行止めとなっていたが、発災後6カ月後には4箇所まで減少した。




凡 例	
施設名	管理者
道路	<span style="color: blue;">○</span> 県 <span style="color: red;">○</span> 市町村



出典：国土地理院発行2.5万分1地図を加工して作成

# 4 土砂災害と応急対策

- 令和7年8月豪雨により、土石流、がけ崩れなどの土砂災害が128箇所が発生した。
- 再度災害による人家への影響が懸念される箇所は、大型土のう積の設置など、応急対策工事を実施した。(2箇所)
- 復旧・復興に向け、土石流を防止するための砂防堰堤の整備など、災害関連緊急事業を実施している。(6箇所) (令和8年3月末時点)

災害関連緊急砂防事業 (単位:億円)			
箇所名	市町村等	事業費	
① 大谷川	八代市興善寺町	3.7	
② 岡谷川	八代市岡町谷川	1.4	
③ 岡谷第三	八代市岡町中	4.6	
④ 畑中川	宇城市小川町東海東	3.1	
※箇所数/4箇所		総事業費/約13億円	

災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業 (単位:億円)			
箇所名	箇所名	事業費	
① 上豊内	甲佐町豊内	1.0	
② 橋ノ本-1	美里町小市野	1.7	
※箇所数/2箇所		総事業費/約3億円	

**土石流 ①大谷川(八代市興善寺町)**

被災状況

応急対策完了

**土石流 ②岡谷川(八代市岡町谷川)**

被災状況

応急対策完了

**土石流 ③岡谷川第三(八代市岡町)**

被災状況

**がけ崩れ ①上豊内(甲佐町豊内)**

被災状況

応急対策完了

**がけ崩れ ②橋ノ本-1(美里町小市野)**

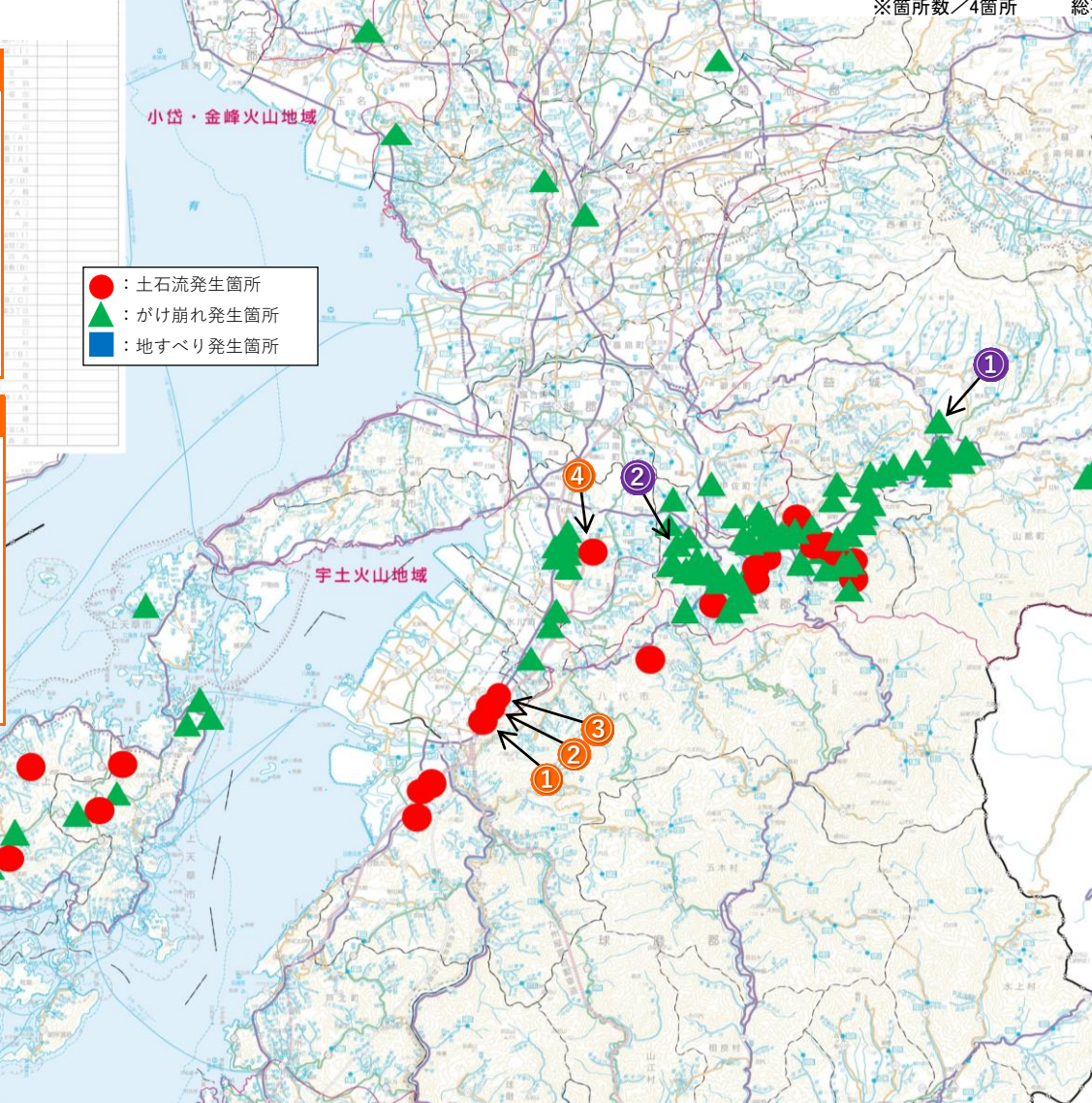
被災状況

応急対策完了

**土石流 ④畑中川(宇城市小川町東海東)**

被災状況

応急対策完了

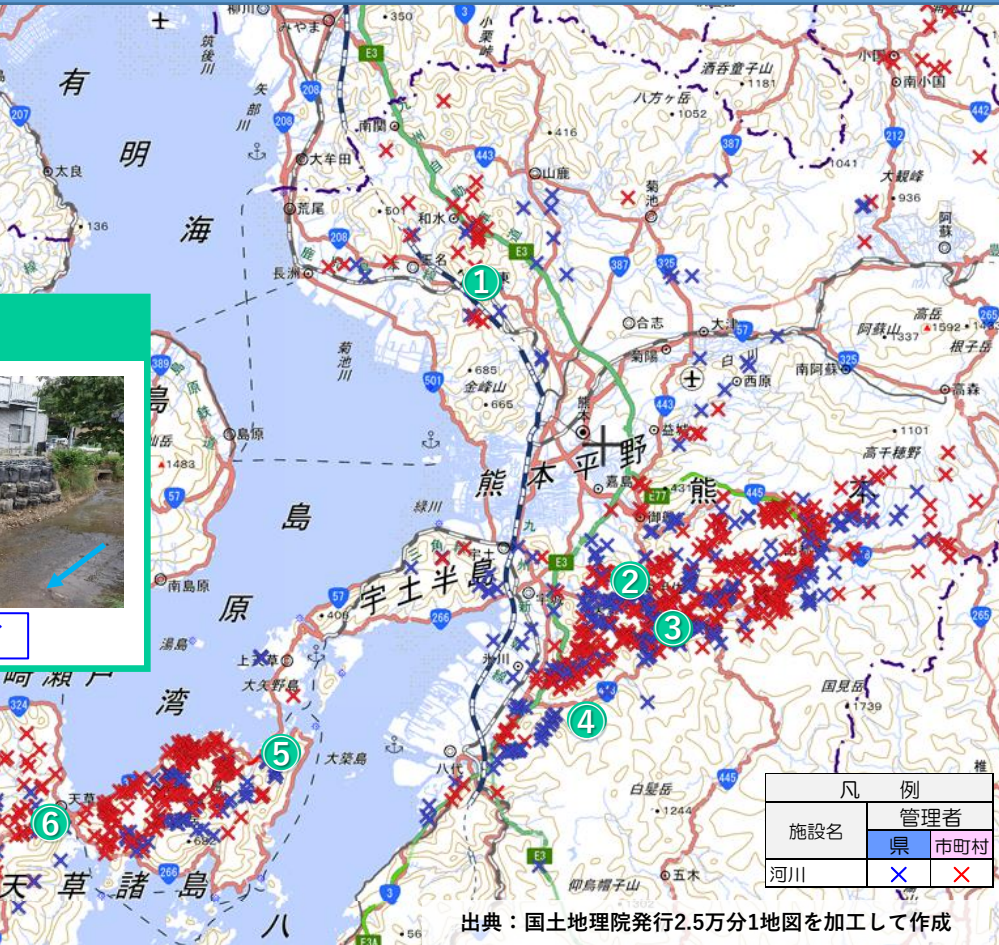


# 5 河川の被害と応急対策

○県管理河川における被害は326箇所にとんでおり、特に出水期間中の被害を防止する対策が必要であったため、令和7年10月までに応急対策を完了した。

○本格復旧については、令和8年5月時点で全体の1割の工事に着手している。

○市町村管理河川の被害は625箇所が発生した。



## ①木葉川（玉東町）



被災状況



応急対策完了

## ⑤今泉川（上天草市）



被災状況



応急対策完了

## ②浜戸川（宇城市）



被災状況



応急対策完了

## ⑥亀川（天草市）



被災状況



応急対策完了

## ④砂川（宇城市）



被災状況



応急対策完了

## ③釈迦院川（美里町）



被災状況



応急対策完了

# 6 下水道の被害と応急対策

〈下水環境課〉

○八代市、玉名市、上天草市、宇城市、合志市、氷川町の6市町において、公共下水道・農業集落排水施設の処理施設が、外水氾濫や内水氾濫により浸水した。

○浸水により、機械、電気設備、マンホールポンプ等が被災し、一時的に機能が停止したが、応急工事により令和7年8月13日までにすべての施設の機能が回復した。

○特に被害が大きかった、八代市、玉名市、氷川町では災害復旧事業に取り組んでおり、令和7年12月までに査定を完了し、復旧工事に着手した。

	被災件数		災害復旧事業	被災施設
	公共下水道	農業集落排水		
八代市	2	1	○	制御盤・管路・マンホール等
玉名市	1	2	○	マンホールポンプ制御盤等
上天草市	1			処理場配電盤・計装設備
宇城市		1		マンホールポンプ制御盤等
合志市	3			ポンプ場制御盤等
氷川町	1		○	真空ステーション制御盤等

浸水状況



●合津終末処理場（上天草市）

※写真提供：上天草市(R7.8.11撮影)

施設被災状況



●沖糖地区真空式下水道施設（氷川町）

※写真提供：氷川町(R7.8.11撮影)

# 7 公園の被害と応急対策

〈都市計画課〉

○八代市、宇城市、嘉島町、甲佐町、氷川町の計8箇所の公園において、園路被災及び土砂堆積等の被害が発生した。

市町村名	件数
八代市	4
宇城市	1
嘉島町	1
甲佐町	1
氷川町	1

※都市災害復旧事業採択時

●高田みんなの広場公園（嘉島町）



土砂堆積状況



土砂撤去状況

●熊本甲佐総合運動公園（甲佐町）



施設浸水状況



施設破損・土砂堆積状況



土砂撤去状況

●東片自然公園（八代市）



施設破損

# 8 海岸、港湾の被害と応急対策

〈河川課・港湾課〉

○海岸線及び港内に漂着した流木等の撤去については、災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業等により回収処分を実施した。



長洲港



荒尾海岸

被災状況



長洲港



荒尾海岸

回収完了状況

(1) 孤立集落解消の取組み

- 県央、県南地域を中心に県管理、市町管理道路の土砂崩れや倒木、路面崩壊等により最大で6市町30集落301世帯561人の孤立が発生し、道路啓開作業が必要となった。
- 県管理道路の道路啓開については、建設業協会各支部に「大規模災害時の支援活動に関する協定」に基づく支援活動を要請し、同協会の協力を得て、早期に作業を実施した。市町管理道路についても、市町と密に情報共有を図り、技術的アドバイスなどを行いながら、道路啓開を行った。その結果、災害発生から9日間（令和7年8月19日まで）ですべての孤立状態を解消した。
- 発災当初は、孤立情報の収集が十分に行えなかったが、県災害対策本部情報グループにおいて、「市町村別孤立集落状況一覧表」を作成し、道路管理者と、随時情報を共有することで、道路の状況、住民の健康状況、物資到達情報、ライフラインの状況などの情報を把握することが可能となった。

【孤立集落の状況等】

- 6市町、30集落で孤立集落が発生した。
  - ≪天草市≫  
2集落孤立 ⇒ 8/13に全孤立解消
  - ≪八代市≫  
6集落孤立 ⇒ 8/15に全孤立解消
  - ≪美里町≫  
11集落孤立 ⇒ 8/19に全孤立解消
  - ≪御船町≫  
2集落孤立 ⇒ 8/17に全孤立解消
  - ≪甲佐町≫  
7集落孤立 ⇒ 8/19に全孤立解消
  - ≪山都町≫  
2集落孤立 ⇒ 8/13に全孤立解消

【孤立集落の解消の推移】

	8/12 時点	8/13 時点	8/15 時点	8/17 時点	8/19 時点
天草市	2	0	0	0	0
八代市	6	6	0	0	0
美里町	11	5	1	1	0
御船町	2	2	1	0	0
甲佐町	7	7	6	5	0
山都町	2	0	0	0	0
計	30	20	8	6	0

【ウェブでの情報共有会議】

- 住民の健康状態や電気・水道などのライフラインに関する情報共有が必要となったため、県と市町村でウェブ会議を実施。これにより、認識共有がスムーズに行われた。  
(8/13~14で1市3町と計6回)



(2) 通行止め箇所の応急対策の取組み

- 被害状況調査を進め、孤立集落箇所や幹線道路など緊急性の高い箇所から、迅速に道路啓開、応急対策を実施した。
- 国道266号（上天草市松島町）については、天草地域の社会・経済等にとって重要な路線で、緊急時には医療や救命を繋ぐ道路である。天草2号橋と3号橋の間で2箇所の法面崩壊が発生し、令和7年8月11日7時に天草地域へのアクセスが寸断したが、昼夜を問わず、崩土除去、応急対策等の作業を実施し、8月11日24時に全面通行止が解除となった。
- 小川泉線（八代市泉町下岳）については、路面崩壊により、令和7年8月11日8時40分に全面通行止めとなり、一時、五木村方面への大幅な迂回が必要となっていた。早急に大型土のうによる応急対策を実施し、8月13日19時に全面通行止めが解除となった。

国道266号（上天草市松島町）



国道218号（美里町栗崎）



(3) 堆積土砂撤去の取組み

【堆積土砂排除事業】

- 堆積土砂排除事業とは、暴風、洪水、高潮、地震その他の異常な天然現象により宅地に堆積した土砂等を撤去する事業である。
- 令和7年8月豪雨では、熊本県内で3市町が本事業を活用し、早期に土砂撤去を行った。

〈堆積土砂量〉

市町村名	八代市	上天草市	美里町	合計
堆積土砂量 (m3)	9,967	2,545	1,110	13,622

※都市災害復旧事業採択時

〈堆積土砂等 撤去進捗状況〉

【八代市興善寺地区】 (八代市提供)

土砂撤去前

土砂撤去後



土砂撤去前

土砂撤去後



【上天草市合津地区】 (上天草市提供)

土砂撤去前

土砂撤去後



【美里町永富地区】 (美里町提供)

土砂撤去前

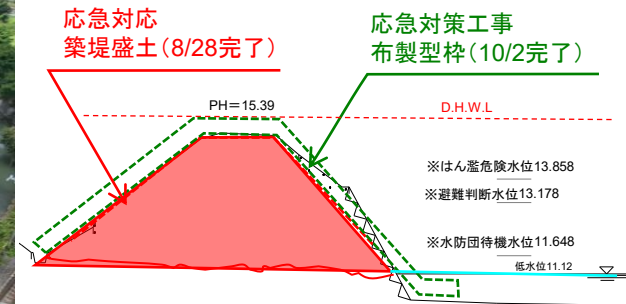
土砂撤去後



(4) 被災河川の応急対策の取組み

- 県内17河川(27箇所)については、大型土のう等設置による応急対策工事を実施し、令和7年8月中に築堤盛土を応急対応により概成させた。

【木葉川(玉東町)の応急対応状況】



堤防欠壊時

8月12日撮影

応急対応完了

8月28日撮影



約2週間



- 木葉川(玉東町木葉)について、令和7年8月11日0時50分に木葉駅(玉名郡玉東町)にて氾濫発生が確認され、11日未明に左岸堤防が約70mにわたり欠壊し、背後地の特別養護老人ホームにおいて浸水被害が発生した。

- 令和7年8月19日に応急対応に着手し、8月28日に築堤盛土が完了、10月2日に布製型枠による法面保護が完了し、応急対策工事を完了させた。

(5) 建設型応急住宅の整備

「県民みんなが安心して笑顔になる」建設型応急住宅の整備



美里町の建設型応急住宅（木造）

○平成24年熊本広域大水害、平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨において整備してきたこれまでの経験を活かし、建設型応急住宅（仮設住宅）を2市町・19戸整備した。

建設型応急住宅の整備状況

市町村名	団地数	整備戸数	種別
美里町	2	9戸	木造
上天草市	1	10戸	ムービングハウス
合計	3	19戸	

※令和7年11月27日に全団地が完成



上天草市の建設型応急住宅（ムービングハウス）



ムービングハウスの室内

「くまもとモデル」による木造仮設住宅の整備

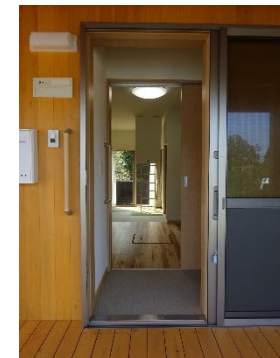
○木造仮設住宅は仮設住宅として利用後、解体するのではなく、住まいの再建先として活用することができるよう、「くまもとモデル」による整備を実施し、再建まで安心して生活できる環境を整えた。なお、中長期使用可能な「くまもとモデル」は、令和6年能登半島地震でも活用された。

木造仮設住宅の仕様

- 合理的な工法による迅速な供給
  - ・玄関部分を連結したウッドデッキポーチを設置
  - ・県産木材の使用／規格材のプレカット（構造材、床、腰壁、玄関ポーチ、スロープ）
  - ・鉄筋コンクリートの基礎
- 高齢者等に配慮したバリアフリー対応
  - ・住戸内外の段差解消
  - ・玄関・浴室の扉を引き戸化
  - ・トイレ・浴室・玄関に手すりを設置
  - ・玄関部分にスロープを設置（全住戸）
- 居住性の向上
  - ・ゆとりのある居住面積の確保
  - ・扉を設置しトイレを個室化
  - ・洗濯機置き場を脱衣室に設置
  - ・壁、天井、窓の断熱性の向上（断熱材、ペアガラス）
  - ・小屋裏収納の面積増
  - ・県産畳表の使用（全戸に和室設置）
  - ・瓦屋根の採用（雨音を防止し安心感を与える）
  - ・多雨な地域性を考慮し、雨樋を設置
  - ・隣戸間に遮音壁を設置
  - ・南側に掃出し窓と濡れ縁を設置



玄関スロープとウッドデッキポーチ



住戸内外の段差解消



居住性が向上した脱衣室



県産木材と県産畳を使用した室内

